

# 組合支援 ウォッチ

## 黒崎一番街協同組合の にぎやか道路活用方法

黒崎一番街協同組合は国家戦略特区を活用して定期的に「黒崎まちなかオレンジカフェ」を開催しています。

### イベント概要

黒崎一番街協同組合は社会福祉法人もやい聖友会と共に認知症や介護について、くつろぎながら語り合うオープンカフェの「黒崎まちなかオレンジカフェ」を月1回、開催しています。予防などに向けた認知症介護カフェの屋外での実施は北九州市で初めて行われ、このイベントをきっかけに、高齢者が憩いの場として街に出かけ、それが黒崎の活性化にもつなげるのではないかと期待されています。



数多くのお店が出店しています

### 背景

この活動のきっかけは北九州市が国家戦略特区の認定を受けたことです。黒崎がエリアマネジメントに係る道路法の特例を受けたことから、黒崎一番街協同組合はそれを活用して公道を開放して出店できる「tugu.town黒崎マルシェ」を開催しました。毎月第3火曜日においしい食べ物、手作り雑貨、占い、エステ体験などの出店のほかカフェが開かれ、多くの方で賑わっています。またその時に応じてクラフト作家の方が出店したり、移動式の Pasta 店が出店したりとお店の内容もバリエーションに富んでいます。



近所の方々の憩いの場となっています

### イベント詳細

そこに社会福祉法人もやい聖友会が昨年9月からマルシェに参加。憩いの場としてテーブルやいすを置き、お茶やソフトドリンクを1杯100円で販売しています。更にお年寄りたちが気軽に足を運べるよう、看護師が血圧や肺年齢、握力などを測定する無料の健康チェックコーナーを設けるほか、楽しく遊べる「ケアトランポリン」も設置。お年寄りたちはお互いにコミュニケーションを取りながら、運動や健康に気遣うことができ好評でした。また理学療法士による相談や計測も併せて行われたり、行政書士らのグループも連携する形で、来られたお年寄りに対して相続無料相談会を開催されるなど盛大に開催されました。

9月の初参加時は健康チェックだけで30人ほどが来店しています。また10月16日の開催時はおしゃべりを楽しむお年寄りの姿があったり、健康器具に興味を示されたりとにぎやかでした。友人同士で参加したお年寄りは「初めて参加しました。外でくつろげて楽しかった。」「色々な方とお話できるいい場所ですね。」と、会話も弾んで楽しそうでした。

今後も継続的に開催する予定です。



健康診断の様子



マッサージコーナーもあります

### 組合概要

組 合 名：黒崎一番街協同組合  
住 所：北九州市八幡西区熊手2丁目  
1番3号  
代 表 者：大谷 弘道  
T E L：093-643-6219